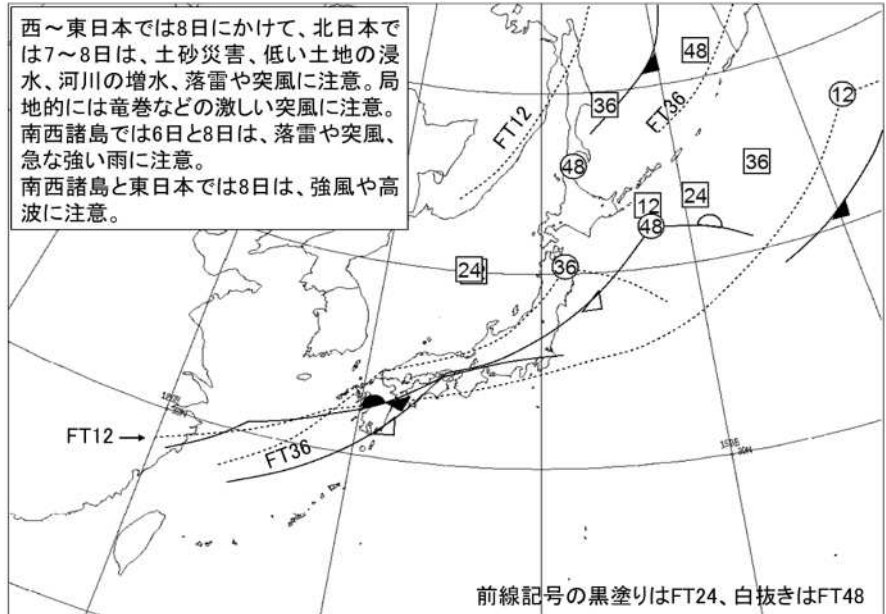


1. 実況上の着目点

- ① 前線が東シナ海から日本の南、伊豆諸島付近を通り、日本の南、伊豆諸島付近を通り、日本のはるか東にのびている。前線に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となっており、西～東日本の太平洋側の海上では雷を検知し非常に激しい雨を解析。南西諸島では、強い雨を解析。
- ② 日本海と千島近海に中心を持つ高気圧があって、東に移動。西～北日本では晴れている所が多い。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 6日は、1項①の前線は東シナ海～西日本～東日本の南岸～日本の東にのびる。南西諸島や西日本、東日本の太平洋側では、前線に向かい流入する下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西日本と東日本の太平洋側では、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。南西諸島は、落雷や突風、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。東日本の内陸では、1項②の高気圧に緩やかに覆われるが、日射による昇温の影響で大気の状態が不安定となる。落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ② 7日は、2項①の前線は本州を北上、前線上に低気圧が発生し、7日夜には日本の東へ進む。また、500hPa5580～5640mのトラフに対応した低気圧が発生し、7日夜にサハリン付近に進む。前線や低気圧に向かい流入する下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西～北日本では、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 8日は、2項②の前線は本州を南下し、8日夜には南西諸島付近～日本の南～日本の東にのびる。前線や低気圧に向かって、下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西～北日本では、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風にも注意。南西諸島では、落雷や突風、急な強い雨に注意。また、前線の北側では、大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり、波が高くなる所がある。南西諸島と東日本では、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。